令和6年度 第3回神奈川県合同輸血療法委員会世話人会 議事録

I. 日 時：令和7年3月10日（月）18：30～

II. 場 所：神奈川県赤十字血液センター会議室

III. 参加者：

世話人：野崎先生（議長）、諸角課長、大久保先生、田中先生、柴崎先生、
三津田先生、宮崎先生、大谷先生、田部先生、小川先生、佐々木先生、
大島先生、山崎先生、石井先生、小林先生、豊崎先生、渋谷先生、
豊田先生、萩原先生、原田先生、山本先生、佐藤先生、横沢先生

アドバイザー：寺内先生、浦谷先生、牧野先生、高橋先生、金森先生

IV. 本日の議事と内容

1. 議長挨拶

野崎先生より挨拶があった。

2. 前回議事要旨の確認

前回議事要旨について確認した。

3. R6年度第19回神奈川県合同輸血療法委員会実施報告

今年度は合計129名の参加があり、前年度より30名減となった。

次回以降の開催方法について、現地+オンラインのハイブリッド形式希望者が多いアンケート結果となった。詳しい内容については資料にて確認いただきたい。

4. R7年度の活動予定について

下記日程にて決定した。

- ・第1回世話人会 令和7年6月9日（月）18:30～
- ・多職種合同カンファレンス（小委員会） 令和7年9月27日（土）
- ・第2回世話人会 令和7年11月10日（月）
- ・第20回神奈川県合同輸血療法委員会 令和8年1月10日（土）
- ・第3回世話人会 令和8年3月9日（月）18:30～

5. 第20回神奈川県合同輸血療法委員会について

1) 開催形式について

（参集・ハイブリッド・オンライン）

→ハイブリッド形式での開催で決定した。

2) 会場について

令和8年1月10日(土)神奈川県赤十字血液センター(ハイブリッド形式)での開催で決定した。血液センターであれば、演者・世話人に追加で先着50名ほど、合計で100名程度は現地参集にて開催できる見込みである。WEB参加者の認定資格についても後日郵送にて対応可能。

3) 基調講演について

J-HeST についての内容を予定している。

・J-HeST については世話人の先生方の所属病院でも積極的に登録していただきたい。
(野崎)

・次年度は神奈川県看護協会も後援いただける予定。看護師へ情報が届いていないことが多いため、各病院への郵送時に「医療機関管理者宛て」「輸血部管理部門宛て」以外にも「看護部責任者宛て」にも別途参加案内を送付するなど、看護師の参加者も増加するように働きかけていきたい。(野崎)

・行政としても広報協力可能である。必要なことがあれば伝えてほしい。(諸角)

6. 小委員会の R7 年度の活動予定について

1) 臨床検査部会小委員会 (小川)

「輸血療法に関する疑問・困りごと」について

問題なければ今年度中にホームページへ掲載予定。確認のうえ意見があればメーリングにて寄せていただくことになった。

「輸血同意書動画」について

実際の利用方法についての案内はホームページへ掲載する。実際のタスクシフトとしての活用だけでなく、看護師の育成などにも活用できる。

利用前および視聴後にアンケート実施を考えている。

アンケート結果について、次年度の合同輸血療法委員会にて報告したいと考えている。

「輸血実施時の認証に関するアンケート調査報告」について

問題なければ今年度中にホームページへ掲載予定。確認のうえ意見があればメーリングにて寄せていただくことになった。

多職種合同カンファレンスについて

令和7年9月27日（土）開催予定。

内容は医療安全と輸血教育についてのカンファレンスを考えている。

北里大学の医療安全推進室の新井さん（看護師）に講演いただきたい。

合同輸血療法委員会での発表では、動画の活用方法やアンケート結果。また多職種合同カンファレンスでの医療安全と輸血教育にからめた方向も考えている。

⇒各先生方からのご意見

- ・学会誌に他県の合同輸血療法委員会の方向が掲載されていた。神奈川県活動も他県に向けて発信しても良いと思う。（野崎）

- ・「多職種合同カンファレンス」という取り組み自体、他県には珍しいという部分もある。ぜひ発信してほしい。（豊崎）

- ・動画やアンケート結果について、ホームページ掲載後に広報して多くの人に見てもらえるように取り組んで欲しい。（石井）

 - 神奈川県合同輸血療法委員会名でお知らせを発出するなど工夫していきたいと考えている。（事務局）

 - 薬務課では薬物乱用防止の啓発などを行っているが、届けたい人に情報が届かない。県のホームページに掲載しても見に来る人はいない。最近ではインスタグラムの広告を配信しており、興味のない人に情報を届けるようにしている。従来方法ではなく予算をとって広報するのもひとつの方法ではないか。（諸角）

- ・多職種合同カンファレンスは後援をとっているのか？（野崎）

 - とっていない。（事務局）

- ・血液センター職員が直接届けてくれる情報はしっかり届きやすい。看護部宛て専用で作成したチラシなどを輸血部経由で渡してもらえれば、届けることができるかと思う。（豊崎）

- ・ターゲットを絞って効果的にどう広報するか。アンケート結果についても何を訴えたいのかインパクトが弱い。どのような理由や背景をもとに原則があるのか、結論めいたことをテーマごとに出すとより伝わるのではないか。（高橋）

- ・ 看護部会小委員会

令和7年9月27日（土）午前中に県内看護師を対象とした会を多職種合同カンファレンスの前に実施予定。

次年度は「看護師への勉強会」「看護師教育の方法」や「困りごと」などについて看護師同士で話し合える機会を作れるようにしたいと考えている。（石井）

7. その他

- ・年度末で所属変更や引き継ぎが生じる場合には事務局あて連絡してほしい。(事務局)
- ・横浜労災病院 佐藤先生は今年度末で退任。輸血部長の後任は副院長の予定だが、世話人への推挙については一旦見送り。(佐藤)
- ・昭和大学→昭和医科大学に名称変更になる。(佐々木)
- ・青森から神奈川県に異動となる認定看護師がおり、看護部会小委員会や世話人へ入っていただきたいと考えている。(石井)
→6月の第一回世話人会にて協議したい。(野崎)

事務局 神奈川県赤十字血液センター 学術情報・供給課